

## 8. やけど

### ◆ 範囲が広い(大やけど)時は 迷わず救急車を呼んでください

緊急度1

1. 子どもの手のひら10個くらいより広い範囲のやけど
2. 皮膚が黒く焦げていたり 白く変色しているやけど

※子どもの全身管理とやけどの手当てが可能な病院への搬送が必要です。救急車を呼んでください。

### ◆ 比較的小さい範囲のやけどの場合

#### 1)こんな時は 緊急度2

- 子どもの手のひら10個くらいより小さいが、水ぶくれができています

傷(やけど)の手当が必要です。処置ができる皮膚科または外科系の医療機関を受診してください。適切な医療機関がわからないときは電話相談を利用。

#### 2)次の場合は 緊急度3

- 範囲は比較的小さく、赤いだけで水ぶくれはできていない

とりあえず自宅で様子を見て皮膚科または外科の診療開始時間まで待つ。

### ◆ 応急処置・手当

- まずはとにかく冷やす
- なにも塗らない
- 冷やす時の注意点
  1. 流水(水道水)ですぐに冷やす
  2. 衣服は脱がせずそのまま冷やす
  3. 最低20~30分は冷やす
  4. 水ぶくれは破らない



#### 一口メモ

事故を防ごう『やけど』は事故です。

- やかん・湯沸かし器の置き場所。
- 食卓の上の熱湯:食卓にはテーブルクロスは使わない。
- お風呂の湯は沸かしすぎない。
- 子どもの頭より高いところで熱いものを運ばない。
- ストープの位置。